

医療機関の適正受診にご協力ください

最近、「待ち時間が少なそうだから」など自分の都合だけで、軽い症状にも関わらず休日や夜間に病院の救急外来を訪れる、いわゆる「コンビニ受診」が増えています。このため、救急外来が混みあい、命に関わるような重篤患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。また病院の医師やスタッフへの負担過重の一因にもなっています。

救急医療を必要としている方が、安心して医療を受けられるよう、医療機関の適正受診への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



救急の場合を除き、平日の時間内に受診しましょう

休日・夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。また時間外診療や休日・夜間の受診は割増料金となり、自己負担も大きくなります。休日・夜間に受診をしようとする際には、平日の診療時間内に受診できないか考えてみましょう。

「はしご受診」をやめ、信頼できる「かかりつけ医」を持ちましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診することを「はしご受診」といいます。「はしご受診」をすることは、医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬によりかえって体に悪影響を与えてしまうなどの心配もあります。信頼できる「かかりつけ医」を持ち、気になることは「かかりつけ医」に相談しましょう。

かかりつけ医

あなた及びご家族の普段の健康管理をしてくれる身近な医師のことで、日頃の診察の他にも健康相談や指導も含め、いろいろな問題について気軽に相談できる医師です。



夜間に受診するか迷ったときは「救急電話相談」をご利用ください

◆相談日：毎日

◆相談時間：19時～22時（3時間）

小児救急電話相談（15歳未満対象）

大人の救急電話相談（15歳以上対象）



子どもの急な病気に困ったら、まず

小児救急電話相談

8 0 0 0

H23. 9/1 大人の電話相談もスタート！

8 5 0 0

※ダイヤル回線・IP電話・プッシュ回線からは

023-633-0299

※ダイヤル回線・IP電話・プッシュ回線からは

023-633-0799